

# ナマズの知恵袋

平成20年(2008年)12月1日  
編集・発行 滋賀県立図書館

メラミン?

## いえいえ日焼けの原因じゃありません



メラニン?

食品混入がニュースなどで報じられたメラミン。一体どんな物質なのでしょう?

『化合物の辞典』(高木進(ほか)編 朝倉書店 1997年(R-4331-タ))を見ると、プラスチックや布、紙などの耐水加工によく使われる樹脂の一種であることがわかります。同じく食品混入で話題になったメタミドホスも『農薬毒性の事典 第3版』(植村振作, 河村宏, 辻万千子著 三省堂 2006年(R-6158-ウ))で、毒性や残留例がわかります。

このように最近のニュースではサイエンスの言葉がよく見られます。サイエンスと聞くと少し遠いところにあるような気がしますが、実はとても身近なもの。「名前は聞いたことがあるけれど実はよく分からない。」近くて遠いサイエンスをもっと身近に! そんな資料を、今回はご紹介いたします。



### 食品について調べてみる

メタボリックシンドロームといわれ、健康を意識するようになって  
トクホとか、サプリメントのことが気になるのだけれど・・・

近頃「体にいい成分」が売りの食品がよく販売されていますが、その成分はどう有効なのか、原材料は何か、よくわからないものも多いのではないのでしょうか。ちょっと気になっていた体にいいというあの成分、調べてみませんか?

『機能性食品素材便覧 改訂増補版』清水俊雄編著 薬事日報社 2006年(RB-4985-シ)

特定保健用食品(通称トクホ)の素材だけでなく、わが国でサプリメントや健康食品に使われている素材についての事典です。物質ごとに有効性や安全性、人での科学的実証なども詳細に記されています。

『食品添加物インデックス 改訂』日本輸入食品安全推進協会編著 中央法規出版 2006年(R-4985-ニ)

食品添加物を和名、英名でひけます。その添加物の和名別名、用途、日本で使用が許可されているかなどが一覧にまとめられています。

『市販加工食品成分表 改訂第8版』香川芳子監修 女子栄養大学出版部 2005年(GB-4985-シ)

市販されている加工食品を即席食品類、基礎調味料など12種に分類し、その成分を記載しています。200社以上の食品メーカーの協力を得て、約6000品目の栄養データが集められています。

『サプリメント事典 第2版』蒲原聖可著 平凡社 2007年(G-4985-カ)

サプリメントの効能、作用、科学的根拠がわかります。サプリメントの名前だけでなく、気になる症状からも引くことが出来ます。

### 外見 だって重要です

現在市販されているほとんどの食品が何かで包装されています。環境や安全の面で機能性が高められた包装についても目を向けてみませんか。

- ・『機能性包装入門』21世紀包装研究協会編 日刊工業新聞社 2002年(G-6751-ニ)
- ・『包装の事典』日本包装学会編 朝倉書店 2001年(R-6751-ニ)
- ・『食品保蔵・流通技術ハンドブック』日本食品保蔵科学会(ほか)編 建帛社 2006年(R-5889-ニ)

### 旬の情報

を手に入れるなら雑誌がおすすめ!

『Newton』教育社: 分かりやすい文章やイラストなどが特徴的な科学雑誌。最新の科学情報をつかむのにおすすめです。

『科学』岩波書店: 専門家のレビューも多い伝統のある科学雑誌です。

『省エネルギー』省エネルギーセンター: 「省エネ」に関する技術誌。省エネルギーの最新の技術など総合的に紹介しています。

『nature』Macmillan Magazines Ltd.: 科学技術全般を扱うイギリスの総合週刊誌。世界でも権威のある科学雑誌の一つです。

最近、「水素エネルギー」や「燃料電池」、「バイオエタノール」などの新しいエネルギー源の開発が進んでいるようだが、製法や仕組みについてはよく分からない。  
そもそも世界のエネルギー事情や、省エネルギーの現状はどうなっているのだろう。

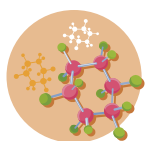


## エネルギーや、省エネルギー技術について調べる

- 『エネルギー便覧 資源編・プロセス編』日本エネルギー学会編 コロナ社 2004・05年(R-5016-二)  
資源編では、エネルギーの種類とそれぞれの特徴、エネルギー資源量などについて。プロセス編では、石油・石炭をはじめ太陽・風力エネルギー、バイオマス、燃料電池、水素エネルギーなどについてその生産から利用技術までが解説されています。
- 『エネルギー・経済統計要覧 2008年版』日本エネルギー経済研究所計量分析ユニット編 省エネルギーセンター 2008年(R-5016-I) エネルギー需給の概要から、産業・家庭など部門別エネルギー需要、石油・石炭などのエネルギー源別需給、世界主要国の一人当たりエネルギー消費などがわかります。
- 『省エネルギー便覧 2007年版』省エネルギーセンター編刊 2007年(R-5016-シ)  
日本のエネルギー消費の動向、省エネルギー関連法と省エネ施策、産業・民生などの各部門での省エネルギー対策などがわかります。
- 『水素・燃料電池ハンドブック』水素・燃料電池ハンドブック編集委員会編 オーム社 2006年(R-5016-ス) 燃料電池の原理と構造・利用分野について解説。また、燃料電池の主な燃料となる水素について、その製法・貯蔵・輸送や水素エンジンなどへの利用方法についても解説。
- 『バイオマス用語事典』日本エネルギー学会編 オーム社 2006年(R-5016-ニ)  
「バイオマス＝エネルギーや工業原料に利用される生物体資源」について重要と考えられる用語を収録した用語事典。配列は見出し語の五十音順で、巻末に和索引、英索引が付きます。

### webサイトでも

滋賀県の環境やエネルギー対策についてはこちら[http://www.pref.shiga.jp/biwako\\_kankyo/kankyo.html](http://www.pref.shiga.jp/biwako_kankyo/kankyo.html)  
資源エネルギー庁のHP。 <http://www.enecho.meti.go.jp/> 『エネルギー白書』も見ることが出来ます。  
省エネルギーセンターのHP。 <http://www.eccj.or.jp/> 家電製品の省エネ性能カタログも。



ES細胞やiPS細胞が再生医療で期待されているらしいけれど、  
どういうものかよく分からない。

## 生命科学やバイオテクノロジーについて調べる

あらゆる細胞に変態することができるES細胞。さらに現在ではiPS細胞といって、同じような機能を人工的に持たせた細胞もつくられ、再生医療への期待が高まっています。アルファベットやカタカナが多い生命科学の用語を調べるのに、こちらの資料はいかがですか。

- 『分子細胞生物学辞典 第2版』村松正實(ほか)編 東京化学同人社 2008年(R-4630-ム)  
バイオテクノロジーの分野でよく使われる言葉や概念を網羅的に解説。2008年10月に改定された第2版にはiPS細胞など最新の言葉についても収録されています。
- 『最新生命科学キーワードブック』野島博著 羊土社 2007年(R-4603-ノ)  
“遺伝子”以降、新しく生まれた用語を五十音で引くことができます。図などを含めわかりやすく説明されています。
- 『ナノバイオ用語事典』山科敦之編 オーム社 2005年(R-4603-ヤ)  
ナノテクノロジー・バイオテクノロジー・ライフサイエンスを組み合わせた研究領域“ナノバイオ”の関連用語を中心に、ナノテクノロジーに関わる基本的な用語も調べることができます。
- 『分子生物学大百科事典』T.E.クレイトン編 朝倉書店 2006年(R-4641-ク)  
分子遺伝学を中心に免疫生物学・生化学・細胞生物学などで近年注目されている事項を中心に選択された用語が載っています。

### データベースで関連論文を

- ・JDream 科学技術や医学などの文献が検索できるデータベース。日本語で検索することができ、外国文献でも日本語の概要情報がついていますので、手軽に利用できます。  
当館の参考資料室にてご利用いただけます。
- ・CiNii(サイニイ) 国立情報学研究所が提供するデータベース。日本の学術論文を中心に収録・提供しています。無料で公開されている論文も豊富にあります。 <http://ci.nii.ac.jp/>  
国立国会図書館に所蔵されている雑誌論文は複写を申し込みます。詳しくは参考資料室まで

